

仲間を大切に、自分らしい学びを深められる子

令和8年度 重点目標

健康にして豊かな情操を持ち、創造力とたくましい実践力を身につけた人間(児童)の育成

1.考える子 創造力豊かで科学的に考える子 2.すなおでやさしく自分も相手も大切にできる子 3.丈夫なからだでねばり強く最後までやりぬく子

<p>確かな学びの現状</p> <p>本市の7つの約束の観点からみると、昨年度は、朝ごはんの喫食率と、自ら課題解決に向けて取り組む児童の割合が、堺市の平均よりも高かった。しかし反面、家族との対話が減少し、スマホやゲームを1日1時間以上触っている児童が増えていることに課題がみられる。学力調査の結果からは、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られた。算数科では、「思考・判断・表現」を問う領域において平均を大きく下回った。昨年度と同様に、データや資料を読み取る学習を意識的に行うことと、文章記述で表現する学習をさらに充実して取り組んでいく。『自ら学ぶ力』を高めるため、校内研修のテーマを「自分の考えや思いに根拠を持って学びを進める子」と設定し、取り組んでいく。</p>	<p>豊かな心・健やかな体の現状</p> <p>・堺市平均より「自分には良いところがある」「人がこまっていると進んで助ける」「こまったことがあったとき、まわりの人に相談したり助けを求めたりできる」児童が少なく、「むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとしたりする」児童が多い。友だちと一緒に過ごすことが楽しいという児童は堺市平均を上回っているため、人と助け合い、穏やかに過ごせる児童を育成したい。 ・本校児童は「外で体を動かすことが好き」と答えた児童が堺市平均よりも高い学年が多いものの、筋力や運動能力にやや課題がある。また新体力テストでも全国平均に届いていない種目もある。また、本校独自のアンケートでは、給食を楽しみにしている児童は多いものの牛乳やごはんに関しては残食が多いこともある。体育の授業で筋力、持久力を駆使しつつ、給食をしっかり食べることができるよう指導していきたい。</p>
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎学力の向上	学習規律と学習習慣の確立された子どもを育てる	●読書の習慣化にむけて、図書の時間に読書ノートを書く時間を設ける。国語教材で並行読書に取り組む。読み聞かせや読書週間を設ける。 ・100冊読破した児童に読書キングの称号を与え、校内放送で全校児童に知らせる。	・「読書がすき」の肯定的意見70%以上。② ・「読書1日30分以上」30%以上。②	学校アンケート	年度末			
			・中、高学年で自主学習ノートに取り組ませる。 ★ノート掲示に取り組む。ホームページなどで啓発する。 ・学習意欲を向上させ、自主的に家庭学習に取り組むことができる子どもを育てる。	・「家庭での学習に進んで取り組むことができたか」の肯定意見80%以上。③ ・1日1回以上パソコンを活用する。	学校アンケート	年度末			
	授業改善	自分の思いや考えを持ち、主体的に表現したり交流したりする活動を通して、考えを深めることのできる子どもを育てる	・校内全体研修を年7回と公開授業(全員)を、行う。学年会を週1回、若手研修を月1回実施し、教材研究を行い、「見方・考え方の働く深い学びのある授業」をめざして取り組む。	・研究授業後の協議会を通して、今後の授業づくりについて考えていく。 ・積極的に授業づくりに取り組み、自身の授業ををふりかえる。	実践報告	各学期末			
			★すべての教科で「わかる授業」を実感させ、学習意欲の向上を図る。	・「先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業をしてくれる。」の肯定意見80%以上かつ否定的な意見10%以下。⑤	学校アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	かかわり合い、はたらきかけ合う集団を育成する	・あらゆる教育活動を通じて、自尊感情や規範意識を醸成する。 ・人権に関する授業参観を年間1回行い、家庭と連携して子どもを育てる一助とする。 ・支援学級との交流を行い、違いを認め合える豊かな心を育成する。	・「自分には良いところがある」の肯定意見70%以上。④ ・人権に関する授業参観を年間1回行えたか。 ・支援学級との交流を年間1回以上行えたか。	学校アンケート 実践報告	年度末			
			・学校全体で児童一人一人の誕生日を祝う(バースデーウィーク)を実施する。学校目標「自分を大切にし、他者を思いやろう」の力を、つけるようにする。	・「思いやりの心」がもてたの肯定意見80%以上。⑤	学校アンケート	年度末			
			★いじめの未然防止と早期発見により適切な対応に努める。 ・いじめ防止シートに則り、いじめの早期発見や未然防止に努める。 ・富山台小学校いじめ防止対策基本方針の改定及び、全職員への周知の徹底を行う。	・毎学期末の生活アンケートを元に個人面談を行い、互いを認め合う指導を行うとともに、早期発見・早期対応を行えたか。	生活アンケート	毎学期			
			・たてわり活動や異学年交流、学級会等を通じて、リーダー性や自主性を育て、自他のよさを認め合うことができるようにする。	・「学級会活動やたてわり活動、行事などで、みんなと一緒に何かをするのは楽しい」の肯定意見85%以上。①	学校アンケート	年度末			
体力の向上	自分の体力と運動能力の現状を把握し、自ら体力向上と健康増進に取り組む子どもを育てる	・体育の授業をはじめ、運動の日常化を図り運動への意欲を高め、体力や運動能力の向上に努める。 ・遊びを中心とした運動取り組みを体育委員会が中心となって実施していく。	・「運動することが好きだ」の肯定意見90%以上。⑨	学校アンケート	年度末				
		・食育や眼育を充実させ、児童の健康に対する意識を高めるよう、養護教諭・栄養教諭を中心に、全教職員で取り組む。	・「早寝・早起きができている」の肯定意見80%以上。⑧ ・「給食は楽しい。」の肯定意見90%以上。②	学校アンケート	年度末				
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行い、地域とともに歩む学校づくりを行う。	・地域人材を積極的に活用し、地域の中の学校づくりを進める。	・ゲストティーチャー等を活用した授業等を行う。 ・中学校区で連携し、情報交換や学びの共有を行う。	学校アンケート	年度末			
			・学校ホームページ(毎日アップ)、校報(月末発行)、学年だより(月末発行)等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	・「学校ホームページや校報・学年だより等を通して、学校の様子がよくわかる」の肯定意見90%以上。④	学校アンケート	年度末			